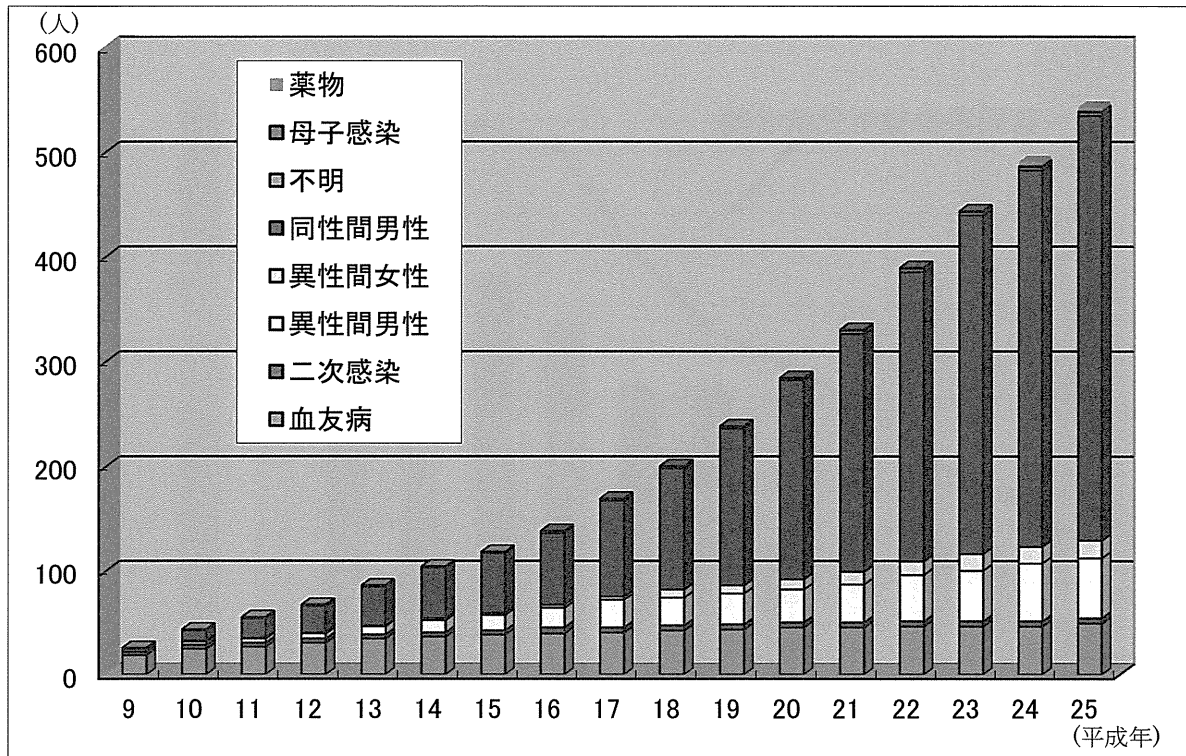
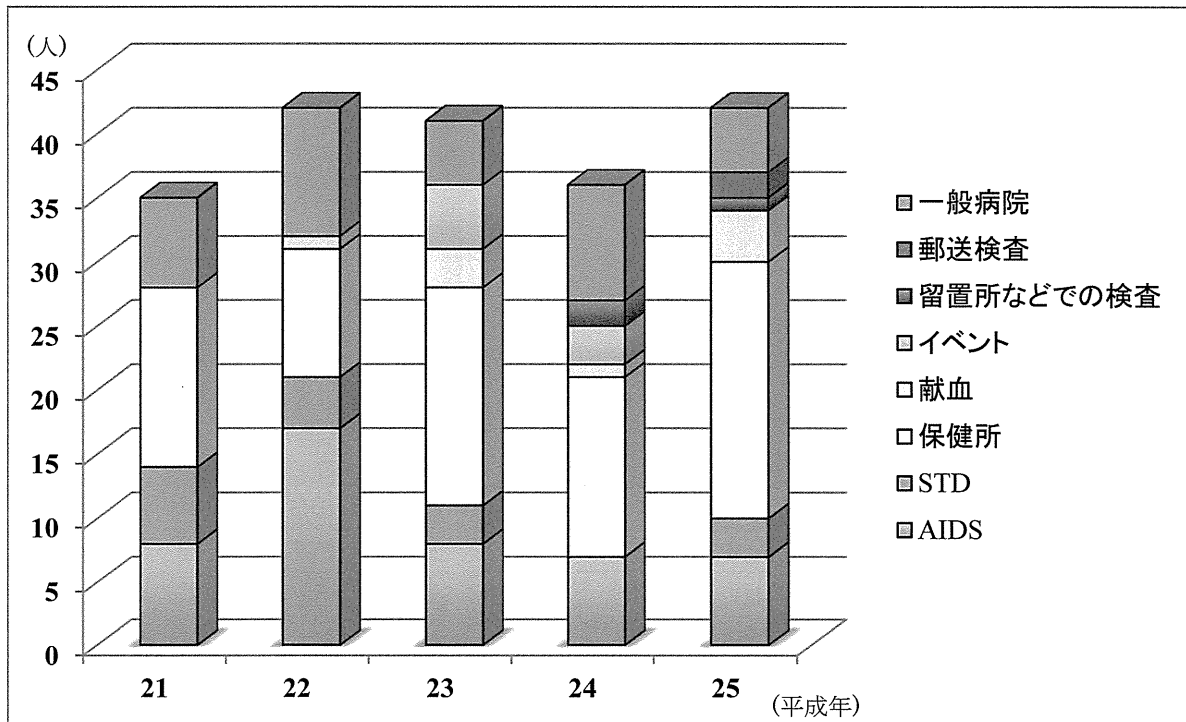


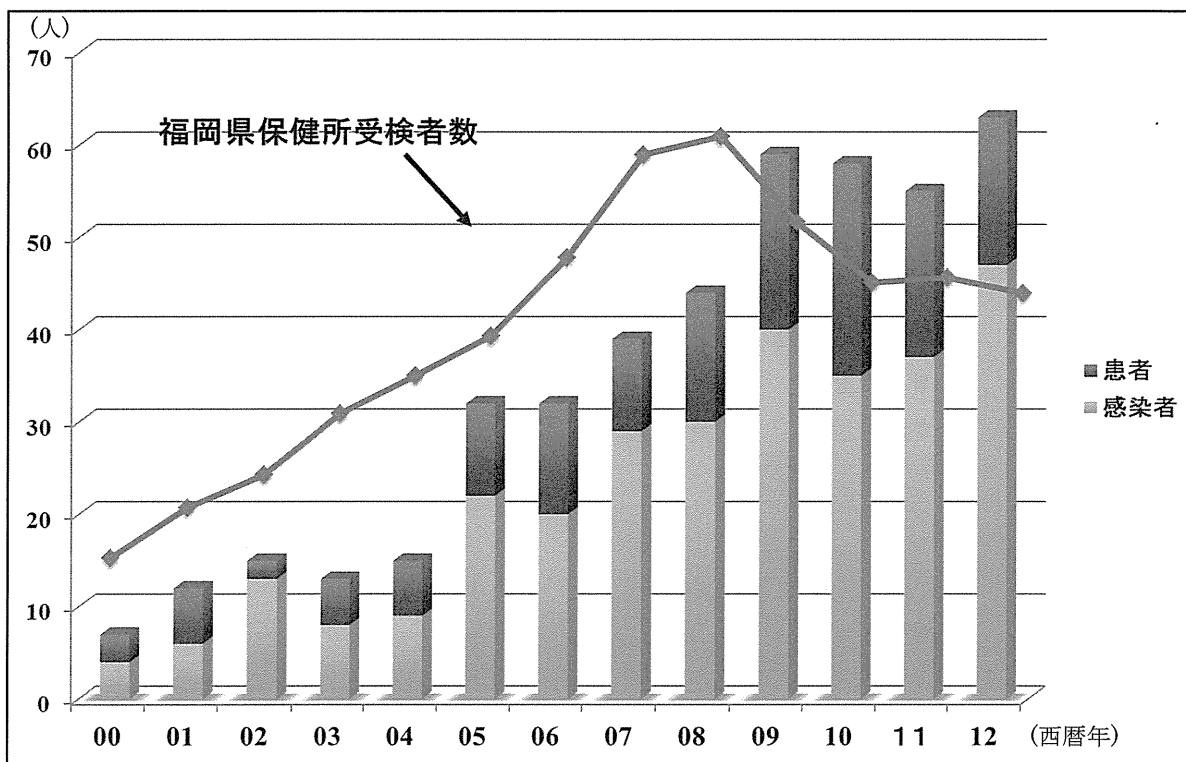
付図1 九州医療センターにおける受診患者数



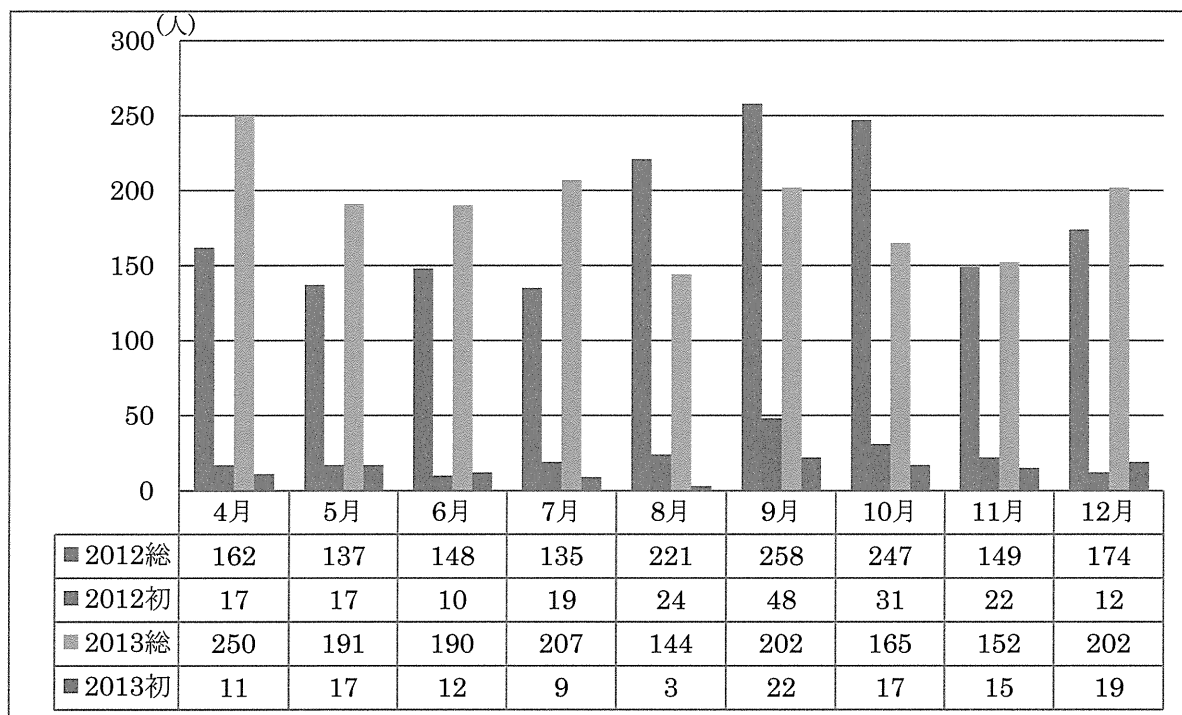
付図2 新規感染者判明契機



付図3 福岡県保健所受験者数と感染者患者報告数の推移



付図4 コミュニティセンターhaco 月別総来場者数と新規来場者数の推移 (12月まで)



付表1 勉強会「パコカル」実績

実施日	タイトル	来場者数
4月7日	ローション&コンドーム	8
5月12日	教科書には載ってない歴史上の人物と『男』の関係	10
6月	構成再検討のため休会	0
7月7日	HIV 検査って何をするの？	3
8月11日	70年代の文学に触れ合う官能の夏	4
9月1日	HIV の基礎講座	3
10月6日	HIV 検査の種類と変遷	4
11月3日	HIV の基礎講座	4
12月1日	「UNITED IN ANGER -ACT UP の歴史-」上映会	11
1月5日	姫はじめにピッタリなシャワ浣&コンドーム	8

付表2 啓発資材配布実績

地区	商業施設数	連携割合	配布日時	参加者数
福岡市	76 店舗	94%	5月25日	5名
			5月26日	5名
			8月3日	8名
			8月4日	6名
			11月23日	3名
			11月24日	3名
北九州市	10 店舗	100%	同上	1名
鹿児島市	1 店舗	-	season 発行毎	郵送

付表3 HIV抗体検査受検者を対象とした質問紙調査（2013年1月-9月）の概要

福岡県内

	2011年			2012年									2013年									2011年	2012年	2013年			
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月				7月	8月	9月
参加施設数				2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		3	3
検査件数				107	109	113	109	84	87	159	145	132	148	140	138	133	129	156	164	133	147		1,045	1,288			
(再掲) 男性				66	70	65	64	46	48	103	95	96	94	87	84	75	72	79	95	83	83		653	752			
女性				41	39	48	45	38	39	56	50	33	54	53	54	58	57	77	69	50	64		389	536			
その他				0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0		3	0			
陽性判明数				0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	2	0	0	2	1	3		2	9			
(再掲) 男性				0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	2	0	0	2	1	3		2	9			
女性				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0			
その他				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0			
陽性判明率				0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.15%	0.00%	0.69%	0.00%	0.00%	0.00%	0.72%	1.50%	0.00%	0.00%	1.22%	0.75%	2.04%		0.19%	0.70%			
男性受検者中の陽性判明率				0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	2.08%	0.00%	1.05%	0.00%	0.00%	0.00%	1.19%	2.67%	0.00%	0.00%	2.11%	1.20%	3.61%		0.31%	1.20%			
質問紙回収数				80	78	94	89	64	58	111	108	101	99	91	107	99	55	116	122	105	95		783	889			
質問紙回収率				74.8%	71.6%	83.2%	81.7%	76.2%	66.7%	69.8%	74.5%	76.5%	66.9%	65.0%	77.5%	74.4%	42.6%	74.4%	74.4%	78.9%	64.6%		74.9%	69.0%			

付表 4 HIV 抗体検査受検者を対象とした質問紙調査：MSM 以外男性・女性・MSM の各群における比較

	MSM以外の男性 n=343		女性 n=357		MSM n=131		合計 n=827		χ <sup>2</sup> 検定 によるp値	
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？										
	再受検	132	38.5%	137	38.8%	94	71.8%	363	43.9%	<b>&lt;0.01</b>
	初受検	210	61.2%	216	61.2%	36	27.5%	462	55.9%	
	無回答	1	0.3%	0	0.0%	1	0.8%	2	0.2%	
年齢										
	24歳以下	64	18.7%	109	30.9%	40	30.5%	213	25.8%	<b>&lt;0.01</b>
	25-34歳	143	41.7%	184	52.1%	51	38.9%	378	45.7%	
	35-44歳	92	26.8%	43	12.2%	26	19.8%	161	19.5%	
	45歳以上	43	12.5%	14	4.0%	14	10.7%	71	8.6%	
	無回答	1	0.3%	3	0.8%	0	0.0%	4	0.5%	
居住地										
	福岡県	333	97.1%	342	96.9%	125	95.4%	800	96.7%	0.65
	それ以外の地域*	10	2.9%	11	3.1%	6	4.6%	27	3.3%	
居住形態										
	はい(1人暮らし)	119	34.7%	142	40.2%	74	56.5%	335	40.5%	<b>&lt;0.01</b>
	いいえ	223	65.0%	211	59.8%	57	43.5%	491	59.4%	
	無回答	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	
婚姻状況										
	結婚している	138	40.2%	62	17.6%	9	6.9%	209	25.3%	<b>&lt;0.01</b>
	結婚していない	203	59.2%	290	82.2%	122	93.1%	615	74.4%	
	無回答	2	0.6%	1	0.3%	0	0.0%	3	0.4%	
健康保険加入状況										
	国民健康保険/職場の健康保険	287	83.7%	258	73.1%	104	79.4%	649	78.5%	<b>&lt;0.01</b>
	被扶養者の健康保険（家族・親族等の扶養）	49	14.3%	81	22.9%	19	14.5%	149	18.0%	
	未加入*	7	2.0%	14	4.0%	8	6.1%	29	3.5%	
HIV/STIや検査に関する知識正答*										
	ウィンドウビリオドについて	306	89.2%	310	87.8%	116	88.5%	732	88.5%	0.40
	偽陽性の可能性について	168	49.0%	140	39.7%	73	55.7%	381	46.1%	<b>0.01</b>
	偽陽性の場合、再検査の必要性がある	232	67.6%	234	66.3%	99	75.6%	565	68.3%	0.18
	重複感染について	239	69.7%	202	57.2%	95	72.5%	536	64.8%	<b>&lt;0.01</b>
	服薬治療について	285	83.1%	254	72.0%	105	80.2%	644	77.9%	<b>&lt;0.01</b>
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに自分の家族に相談できると思えますか？										
	できない/できないと思う	143	41.7%	154	43.6%	80	61.1%	377	45.6%	<b>0.01</b>
	わからない	60	17.5%	55	15.6%	11	8.4%	126	15.2%	
	できる/できると思う	139	40.5%	144	40.8%	40	30.5%	323	39.1%	
	無回答	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに身近な友達に相談できると思えますか？										
	できない/できないと思う	182	53.1%	161	45.6%	62	47.3%	405	49.0%	<b>&lt;0.01</b>
	わからない	56	16.3%	44	12.5%	8	6.1%	108	13.1%	
	できる/できると思う	102	29.7%	148	41.9%	61	46.6%	311	37.6%	
	無回答	3	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.4%	
HIVや性感染症について、相談できる場所(電話相談など)を知っていますか？										
	知らない	164	47.8%	188	53.3%	55	42.0%	407	49.2%	0.12
	知っている	178	51.9%	165	46.7%	75	57.3%	418	50.5%	
	無回答	1	0.3%	0	0.0%	1	0.8%	2	0.2%	
過去6ヶ月間に“HIVに感染しているかも…”と不安に感じたことはありましたか？										
	まったくなかった	111	32.4%	138	39.1%	22	16.8%	271	32.8%	<b>&lt;0.01</b>
	あまりなかった	101	29.4%	128	36.3%	47	35.9%	276	33.4%	
	時々あった	115	33.5%	79	22.4%	54	41.2%	248	30.0%	
	よくあった	15	4.4%	8	2.3%	7	5.3%	30	3.6%	
	無回答	1	0.3%	0	0.0%	1	0.8%	2	0.2%	
過去6ヶ月間に相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？										
	ない*	161	46.9%	352	99.7%	116	88.5%	629	76.1%	<b>&lt;0.01</b>
	ある	182	53.1%	1	0.3%	15	11.5%	198	23.9%	
過去6ヶ月間に相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか？										
	ない*	338	98.5%	319	90.4%	120	91.6%	777	94.0%	<b>&lt;0.01</b>
	ある	5	1.5%	34	9.6%	11	8.4%	50	6.0%	
あなたはこれまでにの性感染症にかかったことはありますか？										
	ない	263	76.7%	248	70.3%	98	74.8%	609	73.6%	0.27
	ある	76	22.2%	103	29.2%	32	24.4%	211	25.5%	
	無回答	4	1.2%	2	0.6%	1	0.8%	7	0.8%	
広報資料の認知（複数回答）										
	各行政のホームページ	143	41.7%	127	36.0%	38	29.0%	308	37.2%	<b>0.03</b>
	各行政の紙資料-ポスター広報誌等	42	12.2%	69	19.5%	17	13.0%	128	15.5%	<b>0.02</b>
	CBOの活動や資料	13	3.8%	17	4.8%	40	30.5%	70	8.5%	<b>&lt;0.01</b>
	HIVマップ	15	4.4%	10	2.8%	15	11.5%	40	4.8%	<b>&lt;0.01</b>
	HIV検査・相談マップ	88	25.7%	107	30.3%	36	27.5%	231	27.9%	0.39
	AC広告(エイズ予防財団)	18	5.2%	15	4.2%	15	11.5%	48	5.8%	<b>0.01</b>

\*集計のさいに無回答を含んでいる。

付表5 HIV抗体検査受検者を対象とした質問紙調査：

MSM受検者におけるCBO（Love Act Fukuoka）の活動や資材の認知別分析

	CBO活動や資材の認知				合計 n=131		χ <sup>2</sup> 検定 によるp値
	あり n=91		なし n=40				
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？							
再受検	60	65.9%	34	85.0%	94	71.8%	<b>0.02</b>
初受検	31	34.1%	5	12.5%	36	27.5%	
無回答	0	0.0%	1	2.5%	1	0.8%	
年齢							
24歳以下	32	35.2%	8	20.0%	40	30.5%	0.26
25-34歳	35	38.5%	16	40.0%	51	38.9%	
35-44歳	15	16.5%	11	27.5%	26	19.8%	
45歳以上	9	9.9%	5	12.5%	14	10.7%	
無回答							
居住形態							
はい(1人暮らし)	50	54.9%	24	60.0%	74	56.5%	0.59
いいえ	41	45.1%	16	40.0%	57	43.5%	
無回答							
婚姻状況							
結婚している	8	8.8%	1	2.5%	9	6.9%	0.19
結婚していない	83	91.2%	39	97.5%	122	93.1%	
無回答							
健康保険加入状況							
国民健康保険/職場の健康保険	69	75.8%	35	87.5%	104	79.4%	0.29
被扶養者の健康保険（家族・親族等の扶養）	15	16.5%	4	10.0%	19	14.5%	
未加入*1	7	7.7%	1	2.5%	8	6.1%	
HIV/STIや検査に関する知識正答*1							
ウィンドウピリオドについて	80	87.9%	36	90.0%	116	88.5%	0.73
偽陽性の可能性について	53	58.2%	20	50.0%	73	55.7%	0.38
偽陽性の場合、再検査の必要性がある	69	75.8%	30	75.0%	99	75.6%	0.92
重複感染について	64	70.3%	31	77.5%	95	72.5%	0.60
服薬治療について	72	79.1%	33	82.5%	105	80.2%	0.66
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに自分の家族に相談できると思いますか？							
できない/できないと思う	56	61.5%	24	60.0%	80	61.1%	0.17
わからない	5	5.5%	6	15.0%	11	8.4%	
できる/できると思う	30	33.0%	10	25.0%	40	30.5%	
無回答							
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに身近な友達に相談できると思いますか？							
できない/できないと思う	46	50.5%	16	40.0%	62	47.3%	0.33
わからない	4	4.4%	4	10.0%	8	6.1%	
できる/できると思う	41	45.1%	20	50.0%	61	46.6%	
無回答							
HIVや性感染症について、相談できる場所(電話相談など)を知っていますか？							
知らない	41	45.1%	14	35.0%	55	42.0%	0.20
知っている	50	54.9%	25	62.5%	75	57.3%	
無回答	0	0.0%	1	2.5%	1	0.8%	
過去6ヶ月間に“HIVに感染しているかも…”と不安に感じたことはありましたか？							
まったくなかった/あまりなかった	46	50.5%	23	57.5%	69	52.7%	0.64
よくあった/時々あった	44	48.4%	17	42.5%	61	46.6%	
無回答	1	1.1%	0	0.0%	1	0.8%	
あなたはこれまでの性感染症にかかったことはありますか？							
ない	68	74.7%	30	75.0%	98	74.8%	0.80
ある	22	24.2%	10	25.0%	32	24.4%	
無回答	1	1.1%	0	0.0%	1	0.8%	
広報資材の認知（複数回答）							
各行政のホームページ	23	25.3%	15	37.5%	38	29.0%	0.16
各行政の紙資材-ポスター-広報誌	8	8.8%	9	22.5%	17	13.0%	
HIVマップ	5	5.5%	10	25.0%	15	11.5%	<b>&lt;0.01</b>
HIV検査・相談マップ	23	25.3%	13	32.5%	36	27.5%	
AC広告(エイズ予防財団)	6	6.6%	9	22.5%	15	11.5%	<b>0.01</b>
特定(恋人や夫など)の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2							
常用	21	31.8%	8	24.2%	29	29.3%	0.43
非常用	45	68.2%	25	75.8%	70	70.7%	
特定以外の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2							
常用	20	32.3%	13	40.6%	33	35.1%	0.42
非常用	42	67.7%	19	59.4%	61	64.9%	
特定(恋人や妻など)の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2							
常用	6	23.1%	3	60.0%	9	29.0%	0.10
非常用	20	76.9%	2	40.0%	22	71.0%	
特定以外の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2							
常用	5	23.8%	4	66.7%	9	33.3%	<b>0.05</b>
非常用	16	76.2%	2	33.3%	18	66.7%	

\*1 集計のさいに無回答を含んでいる。

\*2 過去6ヶ月間に膣性交または肛門性交を行ったと回答したもののみを分析対象としたため総数が異なる。

付表6 GCQ アンケート 2013：年齢別の基礎属性

	年齢										合計 n=649	Pearson $\chi^2$	
	24歳以下		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40歳以上				
	n=129	n=168	n=156	n=104	n=92								
<b>性的指向</b>													
ゲイ(同性愛者)	108	83.7%	152	90.5%	135	86.5%	98	94.2%	85	92.4%	578	89.1%	<b>0.04</b>
バイ(両性愛者)	15	11.6%	14	8.3%	19	12.2%	3	2.9%	7	7.6%	58	8.9%	
その他	6	4.7%	2	1.2%	2	1.3%	3	2.9%	0	0.0%	13	2.0%	
<b>あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか？</b>													
一人暮らし	58	45.0%	91	54.2%	87	55.8%	55	52.9%	51	55.4%	342	52.7%	<b>0.04</b>
家族と同居	61	47.3%	56	33.3%	50	32.1%	29	27.9%	30	32.6%	226	34.8%	
家族以外と同居	10	7.8%	21	12.5%	19	12.2%	20	19.2%	11	12.0%	81	12.5%	
<b>あなたは現在、結婚していますか？</b>													
結婚している	3	2.3%	0	0.0%	5	3.2%	0	0.0%	7	7.6%	15	2.3%	<b>&lt;0.01</b>
結婚していない	126	97.7%	168	100.0%	151	96.8%	104	100.0%	85	92.4%	634	97.7%	
<b>あなたは現在、健康保険を持っていますか？</b>													
国民健康保険	57	44.2%	51	30.4%	51	32.7%	34	32.7%	27	29.3%	220	33.9%	<b>&lt;0.01</b>
職場の健康保険	46	35.7%	97	57.7%	100	64.1%	65	62.5%	59	64.1%	367	56.5%	
被扶養者の健康保険	18	14.0%	11	6.5%	3	1.9%	1	1.0%	1	1.1%	34	5.2%	
持っていない	8	6.2%	9	5.4%	2	1.3%	4	3.8%	5	5.4%	28	4.3%	
<b>次の中でこれまでに利用したものはありますか？(複数回答)</b>													
ゲイバー	113	87.6%	163	97.0%	146	93.6%	96	92.3%	85	92.4%	603	92.9%	<b>0.04</b>
ゲイナイト	54	41.9%	118	70.2%	120	76.9%	84	80.8%	70	76.1%	446	68.7%	<b>&lt;0.01</b>
ゲイショップ	56	43.4%	102	60.7%	112	71.8%	87	83.7%	70	76.1%	427	65.8%	<b>&lt;0.01</b>
PC出会い系サイト	43	33.3%	79	47.0%	96	61.5%	65	62.5%	43	46.7%	326	50.2%	<b>&lt;0.01</b>
携帯出会い系サイト	69	53.5%	118	70.2%	119	76.3%	75	72.1%	64	69.6%	445	68.6%	<b>&lt;0.01</b>
mixiなどのSNS	72	55.8%	115	68.5%	108	69.2%	77	74.0%	66	71.7%	438	67.5%	<b>0.03</b>
工口系SNS	40	31.0%	52	31.0%	70	44.9%	52	50.0%	43	46.7%	257	39.6%	<b>&lt;0.01</b>
スマートフォンのゲイ向けアプリ	92	71.3%	128	76.2%	118	75.6%	75	72.1%	58	63.0%	471	72.6%	0.19
ゲイ向けサークル	18	14.0%	47	28.0%	41	26.3%	23	22.1%	14	15.2%	143	22.0%	<b>0.01</b>
ゲイ向け合コン	11	8.5%	35	20.8%	28	17.9%	13	12.5%	6	6.5%	93	14.3%	<b>&lt;0.01</b>
ゲイの乱パ	6	4.7%	13	7.7%	11	7.1%	11	10.6%	10	10.9%	51	7.9%	0.38
有料のハッテン場	57	44.2%	92	54.8%	91	58.3%	77	74.0%	60	65.2%	377	58.1%	<b>&lt;0.01</b>
野外のハッテン場	18	14.0%	35	20.8%	40	25.6%	39	37.5%	35	38.0%	167	25.7%	<b>&lt;0.01</b>
ハッテン場で有名な公共施設	26	20.2%	54	32.1%	70	44.9%	53	51.0%	47	51.1%	250	38.5%	<b>&lt;0.01</b>

付表7 GCQ アンケート 2013：年齢別の検査行動、HIVの身近さ、性感染症罹患、性行動

	年齢					合計 n=649	Pearson $\chi^2$
	24歳以下 n=129	25-29歳 n=168	30-34歳 n=156	35-39歳 n=104	40歳以上 n=92		
<b>これまでにHIV抗体検査を受けようと思ったことはありますか？</b>							
ある	100 77.5%	148 88.1%	139 89.1%	91 87.5%	74 80.4%	552 85.1%	<b>0.03</b>
ない	29 22.5%	20 11.9%	17 10.9%	13 12.5%	18 19.6%	97 14.9%	
<b>これまでにHIV抗体検査を受けたことはありますか？</b>							
ある	65 50.4%	114 67.9%	110 70.5%	70 67.3%	51 55.4%	410 63.2%	<b>&lt;0.01</b>
ない	64 49.6%	54 32.1%	46 29.5%	34 32.7%	41 44.6%	239 36.8%	
<b>過去1年間にHIV抗体検査を受けたことはありますか？</b>							
ある	50 38.8%	70 41.7%	47 30.1%	32 30.8%	21 22.8%	220 33.9%	<b>0.01</b>
ない	79 61.2%	98 58.3%	109 69.9%	72 69.2%	71 77.2%	429 66.1%	
<b>過去1年の検査場所(複数回答)</b>							
保健所の通常検査	28 21.7%	32 19.0%	23 14.7%	13 12.5%	9 9.8%	105 16.2%	0.09
保健所の即日検査	14 10.9%	31 18.5%	23 14.7%	10 9.6%	10 10.9%	88 13.6%	0.17
保健所の夜間検査	3 2.3%	1 0.6%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	5 0.8%	0.22
医療センターなどの病院	6 4.7%	7 4.2%	7 4.5%	6 5.8%	3 3.3%	29 4.5%	0.94
クリニック・医院・診療所	10 7.8%	4 2.4%	5 3.2%	6 5.8%	5 5.4%	30 4.6%	0.20
郵送検査キット	1 0.8%	1 0.6%	1 0.6%	2 1.9%	2 2.2%	7 1.1%	0.65
その他	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.9%	2 2.2%	5 0.8%	0.15
<b>あなたの友達や知り合いにHIVに感染している人はいますか？</b>							
いる	17 13.2%	38 22.6%	57 36.5%	39 37.5%	35 38.0%	186 28.7%	<b>&lt;0.01</b>
いると思う	24 18.6%	37 22.0%	41 26.3%	31 29.8%	15 16.3%	148 22.8%	
いないと思う	38 29.5%	39 23.2%	24 15.4%	15 14.4%	13 14.1%	129 19.9%	
いない	13 10.1%	13 7.7%	8 5.1%	3 2.9%	8 8.7%	45 6.9%	
わからない	37 28.7%	41 24.4%	26 16.7%	16 15.4%	21 22.8%	141 21.7%	
<b>過去6か月間に彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがありますか？</b>							
ある	35 27.1%	56 33.3%	49 31.4%	37 35.6%	27 29.3%	204 31.4%	0.25
ない	45 34.9%	59 35.1%	71 45.5%	37 35.6%	35 38.0%	247 38.1%	
彼氏・恋人がいなかった	49 38.0%	53 31.5%	36 23.1%	30 28.8%	30 32.6%	198 30.5%	
<b>過去6か月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？</b>							
ある	70 54.3%	103 61.3%	76 48.7%	49 47.1%	45 48.9%	343 52.9%	0.09
ない	59 45.7%	65 38.7%	80 51.3%	55 52.9%	47 51.1%	306 47.1%	
<b>過去6か月間に周囲の人とHIVやエイズについて話したことがありますか？</b>							
ある	73 56.6%	109 64.9%	88 56.4%	58 55.8%	49 53.3%	377 58.1%	0.33
ない	56 43.4%	59 35.1%	68 43.6%	46 44.2%	43 46.7%	272 41.9%	
<b>次の中で、これまでににかかったことがある性感染症はありますか？(複数回答)</b>							
梅毒	2 1.6%	5 3.0%	16 10.3%	13 12.5%	8 8.7%	44 6.8%	<b>&lt;0.01</b>
A型肝炎	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.9%	0 0.0%	2 0.3%	<b>0.03</b>
B型肝炎	3 2.3%	10 6.0%	8 5.1%	13 12.5%	11 12.0%	45 6.9%	<b>0.01</b>
クラミジア	4 3.1%	9 5.4%	14 9.0%	8 7.7%	8 8.7%	43 6.6%	0.26
尖圭コンジローマ	4 3.1%	4 2.4%	4 2.6%	4 3.8%	6 6.5%	22 3.4%	0.45
淋病	0 0.0%	1 0.6%	3 1.9%	4 3.8%	3 3.3%	11 1.7%	0.10
HIV感染症	1 0.8%	2 1.2%	5 3.2%	3 2.9%	3 3.3%	14 2.2%	0.48
赤痢アメーバ	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	2 1.9%	0 0.0%	3 0.5%	0.15
毛じらみ	21 16.3%	50 29.8%	56 35.9%	52 50.0%	42 45.7%	221 34.1%	<b>&lt;0.01</b>
性器ヘルペス	1 0.8%	0 0.0%	4 2.6%	2 1.9%	2 2.2%	9 1.4%	0.29
その他	1 0.8%	1 0.6%	2 1.3%	0 0.0%	1 1.1%	5 0.8%	0.82
いずれもなし	100 77.5%	106 63.1%	79 50.6%	39 37.5%	36 39.1%	360 55.5%	<b>&lt;0.01</b>
<b>これまでに男性とセックスをしたことがありますか？</b>							
ある	122 94.6%	161 95.8%	155 99.4%	104 100.0%	90 97.8%	632 97.4%	<b>0.03</b>
ない	7 5.4%	7 4.2%	1 0.6%	0 0.0%	2 2.2%	17 2.6%	
<b>これまでに男性とアナルセックスをしたことがありますか？</b>							
ある	117 90.7%	152 90.5%	145 92.9%	101 97.1%	84 91.3%	599 92.3%	0.30
ない	12 9.3%	16 9.5%	11 7.1%	3 2.9%	8 8.7%	50 7.7%	



付表 8 GCQ アンケート 2013 : 年齢別の性行動

	年齢					合計 n=649	Pearson $\chi^2$
	24歳以下 n=129	25-29歳 n=168	30-34歳 n=156	35-39歳 n=104	40歳以上 n=92		
<b>過去6ヶ月間のアナルセックス経験</b>							
過去6ヶ月間あり	110 94.0%	140 92.1%	120 82.8%	83 82.2%	70 83.3%	523 87.3%	<b>0.01</b>
過去6ヶ月間なし	7 6.0%	12 7.9%	25 17.2%	18 17.8%	14 16.7%	76 12.7%	
<b>合計</b>	<b>117 100.0%</b>	<b>152 100.0%</b>	<b>145 100.0%</b>	<b>101 100.0%</b>	<b>84 100.0%</b>	<b>599 100.0%</b>	
<b>コンドーム使用状況</b>							
非常用	67 60.9%	86 61.4%	69 57.5%	42 50.6%	40 57.1%	304 58.1%	0.57
常用	43 39.1%	54 38.6%	51 42.5%	41 49.4%	30 42.9%	219 41.9%	
<b>合計</b>	<b>110 100.0%</b>	<b>140 100.0%</b>	<b>120 100.0%</b>	<b>83 100.0%</b>	<b>70 100.0%</b>	<b>523 100.0%</b>	
<b>彼氏や恋人などの相手とのコンドーム使用状況</b>							
非常用	29 53.7%	38 62.3%	28 65.1%	21 56.8%	17 68.0%	133 60.5%	0.68
常用	25 46.3%	23 37.7%	15 34.9%	16 43.2%	8 32.0%	87 39.5%	
<b>合計</b>	<b>54 100.0%</b>	<b>61 100.0%</b>	<b>43 100.0%</b>	<b>37 100.0%</b>	<b>25 100.0%</b>	<b>220 100.0%</b>	
<b>友達やセクフレなど恋人ではない特定の相手とのコンドーム使用状況</b>							
非常用	29 58.0%	41 62.1%	31 55.4%	19 52.8%	13 52.0%	133 57.1%	0.86
常用	21 42.0%	25 37.9%	25 44.6%	17 47.2%	12 48.0%	100 42.9%	
<b>合計</b>	<b>50 100.0%</b>	<b>66 100.0%</b>	<b>56 100.0%</b>	<b>36 100.0%</b>	<b>25 100.0%</b>	<b>233 100.0%</b>	
<b>その場限りの相手とのコンドーム使用状況</b>							
非常用	29 74.4%	24 44.4%	25 44.6%	12 41.4%	16 50.0%	106 50.5%	<b>0.02</b>
常用	10 25.6%	30 55.6%	31 55.4%	17 58.6%	16 50.0%	104 49.5%	
<b>合計</b>	<b>39 100.0%</b>	<b>54 100.0%</b>	<b>56 100.0%</b>	<b>29 100.0%</b>	<b>32 100.0%</b>	<b>210 100.0%</b>	

付表9 GCQ アンケート 2013：年齢別の性行動、薬物使用、金銭を介した性行動、資材認知

	年齢										Pearson $\chi^2$		
	24歳以下 n=129		25-29歳 n=168		30-34歳 n=156		35-39歳 n=104		40歳以上 n=92			合計 n=649	
<b>過去6ヶ月間に、口内射精をしたことがありますか？または、口内射精をされたことはありますか？</b>													
口内射精したことがある	31	24.0%	53	31.5%	36	23.1%	18	17.3%	20	21.7%	158	24.3%	0.02
口内射精されたことがある	24	18.6%	28	16.7%	20	12.8%	15	14.4%	11	12.0%	98	15.1%	
どちらもある	25	19.4%	33	19.6%	31	19.9%	13	12.5%	12	13.0%	114	17.6%	
どちらもない	49	38.0%	54	32.1%	69	44.2%	58	55.8%	49	53.3%	279	43.0%	
<b>過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験</b>													
いずれもなし	110	85.3%	140	83.3%	122	78.2%	92	88.5%	62	67.4%	526	81.0%	0.00
パイアグラのみ併用	5	3.9%	10	6.0%	10	6.4%	4	3.8%	16	17.4%	45	6.9%	
他の薬物併用経験あり	14	10.9%	18	10.7%	24	15.4%	8	7.7%	14	15.2%	78	12.0%	
<b>過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験（再掲）</b>													
いずれもなし	110	85.3%	140	83.3%	122	78.2%	92	88.5%	62	67.4%	526	81.0%	0.00
他の薬物併用経験あり	19	14.7%	28	16.7%	34	21.8%	12	11.5%	30	32.6%	123	19.0%	
<b>過去6か月間に、コンドームを買ったことがありますか？</b>													
ある	70	54.3%	78	46.4%	56	35.9%	41	39.4%	35	38.0%	280	43.1%	0.02
ない	59	45.7%	90	53.6%	100	64.1%	63	60.6%	57	62.0%	369	56.9%	
<b>過去6か月間に、コンドームをすぐに使えるよういつも身近に持っていましたか？</b>													
いつも持っていた	46	35.7%	63	37.5%	67	42.9%	44	42.3%	45	48.9%	265	40.8%	0.68
時々持っていた	37	28.7%	47	28.0%	41	26.3%	30	28.8%	23	25.0%	178	27.4%	
持っていなかった	46	35.7%	58	34.5%	48	30.8%	30	28.8%	24	26.1%	206	31.7%	
<b>過去6か月間に相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？</b>													
ある	9	7.0%	8	4.8%	10	6.4%	4	3.8%	7	7.6%	38	5.9%	0.73
ない	120	93.0%	160	95.2%	146	93.6%	100	96.2%	85	92.4%	611	94.1%	
<b>過去6か月間に相手にお金をもらってセックスをしたことがありますか？</b>													
ある	15	11.6%	10	6.0%	6	3.8%	2	1.9%	1	1.1%	34	5.2%	0.00
ない	114	88.4%	158	94.0%	150	96.2%	102	98.1%	91	98.9%	615	94.8%	
<b>博多の住吉にあるHAKATA Community center hacolに行ったことがありますか？</b>													
行ったことがある	24	18.6%	51	30.4%	53	34.0%	40	38.5%	36	39.1%	204	31.4%	0.00
知っているが行ったことない	41	31.8%	60	35.7%	56	35.9%	46	44.2%	33	35.9%	236	36.4%	
知らない	64	49.6%	57	33.9%	47	30.1%	18	17.3%	23	25.0%	209	32.2%	
<b>LAFが配布しているコミュニティペーパーseasonを読んだことがありますか？</b>													
読んだことがある	42	32.6%	93	55.4%	91	58.3%	70	67.3%	51	55.4%	347	53.5%	0.00
知っているが読んだことない	11	8.5%	16	9.5%	13	8.3%	9	8.7%	10	10.9%	59	9.1%	
知らない	76	58.9%	59	35.1%	52	33.3%	25	24.0%	31	33.7%	243	37.4%	
<b>LAFが配布しているコンドームを持ち帰ったことがありますか？</b>													
過去1年間に持ち帰った	30	23.3%	68	40.5%	55	35.3%	36	34.6%	37	40.2%	226	34.8%	0.00
1年以上前に持ち帰った	14	10.9%	26	15.5%	28	17.9%	27	26.0%	11	12.0%	106	16.3%	
知っているが持ち帰ったことない	11	8.5%	16	9.5%	17	10.9%	16	15.4%	13	14.1%	73	11.2%	
知らない	74	57.4%	58	34.5%	56	35.9%	25	24.0%	31	33.7%	244	37.6%	
<b>これまでに博多のキャンペーンキャラクターを見たことがありますか？</b>													
見た	46	35.7%	84	50.0%	71	45.5%	55	52.9%	35	38.0%	291	44.8%	0.03
見ていない	83	64.3%	84	50.0%	85	54.5%	49	47.1%	57	62.0%	358	55.2%	
<b>あなたはLAFが実施している即日検査キャンペーンを知っていますか？</b>													
利用した(クリニックで検査を受けた)	16	12.4%	17	10.1%	13	8.3%	9	8.7%	9	9.8%	64	9.9%	0.03
知っているが利用したことはない	29	22.5%	60	35.7%	56	35.9%	48	46.2%	38	41.3%	231	35.6%	
知らない	84	65.1%	91	54.2%	87	55.8%	47	45.2%	45	48.9%	354	54.5%	

## 沖縄地域の MSM における HIV 感染対策の企画と実施

研究分担者：健山正男（琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学 准教授）

研究協力者：仲村秀太、翁長薫、原永修作、比嘉 太、藤田次郎（琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学）、宮城京子、前田サオリ（琉球大学医学部附属病院看護部）

新江裕貴（琉球大学医学部附属病院薬剤部）、金城健、木村徳行（公益財団法人エイズ予防財団/nankr 沖縄）、沖縄県健康福祉保健部健康増進課

南部福祉保健所、中部福祉保健所、中央福祉保健所

### 研究要旨

#### 研究Ⅰ．沖縄県における MSM の HIV 受検者の特性の解析

1. CBO 活動・資材（以下 CBO 群）の認知では 25-44 歳を中心に 44 歳以下で 91.8%を占めた。2. CBO 群では、偽陽性の意味を把握していた。3. CBO 群では、家族より友人とのコミュニケーション環境が構築されていた。4. CBO 群では、HIV・性感染症に関する相談支援制度を認知している割合が高かった。5. CBO 群では男性との性交渉では、コンドーム装着率に差を認めないが、女性では有意に高かった。6. CBO 群では、行政のホームページ以外の公的資材へのアクセスは有意に高かった。本研究実施計画については名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より実施の承認を得た（ID 番号 11026-2）。

#### 研究Ⅱ．コミュニティネットワークを用いた MSM を対象とする性の健康、HIV/AIDS 感染予防行動に関する質問紙調査—GCQ アンケート 2013—

1. ゲイを自認する割合は、年代間で有意差は認めなかった。2. 独居の割合は、年齢が高くなるにつれて正の相関を認めた。3. ゲイ商業施設の生涯利用率は年齢が高くなるにつれて正の相関を認めた。4. 出会い系サイトの利用率は年齢が高くなるにつれて負の相関を認めた。5. ゲイ向け合コンは 25-29 歳、ゲイの乱パは、30-34 歳から高くなり、それ以降の年齢層でもほぼ同じ割合であった。6. ハッテン場利用は、年齢が高くなるにつれて正の相関を認めた。7. ハッテン場（公共施設）の利用は 30-34 歳以上で急激に増加し、40 歳以上が最も高く 50%超の割合であった。8. 生涯の HIV 検査受検歴は、30-34 歳が 75.9%と最も高く、全ての年代で 50%超であった。9. 過去 1 年間の受検歴割合は 30%前後であった。10. 過去 1 年の検査場所で、保健所の即日検査と通常検査の間では、29 歳以下ではほぼ同率で差がなく、30 歳以上では前者が 6%と高い割合であった。本研究実施計画については名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より実施の承認を得た（ID 番号 11027-2）。

#### 研究Ⅲ．2013 年度の CBO 活動実績

1. コミュニティセンター運営方法、2. HIV 予防啓発プログラム、3. mabui への誘導プログラム、4. ゲイバーへのアプローチ方法、5. ゲイバー以外へのアプローチ方法、6. 沖縄に訪れる県外 MSM へのアプローチ方法、7. 相談プログラム、8. 検査促進に分けて検討した。新しいプログラムを行うことで活動の停滞化を避けた。行政の行う MSM 検査会の広報及び県からの委託費で啓発を実施するなど、行政との連携が密になってきた。今後はターゲットを絞った啓発プログラムの開発が必要と考える。

## 研究Ⅰ. 沖縄県における MSM の HIV 受検者の性行動の特性の解析

### A. 研究背景と目的

沖縄県における HIV 感染者の増加は 1999 年より顕著となり、2007 年度以降、連続して人口あたりの HIV 感染者は全国最上位を占めており、その 85%以上が MSM である。AIDS の届出は 2011 年は人口比で全国 1 位となり、受検の向上が急務である。

以上より、沖縄県における HIV 感染の増大は大部分が MSM 間で起きており、病期の進行した症例が多くを占めていることが明らかとなり、MSM における検査受検率を現状よりも高めて、感染者を速やかに医療機関へとつなぐことが喫急の課題と言える。

これらの背景から、HIV 検査を軸としたエイズ対策に資するために、沖縄県における各検査施設における受検者の特徴を把握し、MSM、MSM 以外の男性、女性別に属性等を比較検討し、MSM 受検者の受検行動の啓発に最も有効な方策を明らかにすることを目的としてアンケート調査を行った。

### B. 研究方法

#### 1. 組織と方法

沖縄県において沖縄県健康福祉保健部健康増進課の協力を得て、3ヶ所の保健所で実施した。

実施期間中、協力検査機関を利用した HIV を含む性感染症の検査受検者の来場時に、調査依頼とともに配布し、通常検査・即日検査とともに、結果を返す前(受付～採血終了～結果告知前のいずれかの時点で)の記入を依頼した。記入後、回答者本人が回答用封筒に密封し、回収箱に投函して回収した。各協力機関において回収されたアンケートを毎月月末にまとめ、報告票とともに調査事務局に送付し回収した。本調査は倫理的配慮として名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会の承認を得て実施された(ID番号 11026-2)。

本報告では回答者の性別が男性であり、生

涯に男性との性行為経験を有するものを MSM とし、MSM 以外の男性、女性の 3 群に分類した。また属性等を把握する目的で全体を集計する場合には、本調査に初回回答であり各項目に無回答であったものを除き分析対象者とした。

#### 2. 研究期間

2013 年 1 月から 2013 年 9 月末とした。

#### 3. 実施地域

沖縄県那覇市、南城市、沖縄市の 3 保健所(南部福祉保健所、中部福祉保健所、中央福祉保健所)で実施した。

#### 4. アンケート内容

質問項目は基本属性、性行動、介入プログラムの認知等全 24 問とした。介入の認知項目以外は本研究班で実施されている他地域の質問項目と同じ項目とした。

2013 年 1 月から新たに HIV/STI や検査に関する知識として以下の 5 項目を追加した。ウィンドウピリオドについて「通常の HIV 検査では、感染から 2~3 ヶ月経過しないと感染しているかどうか分からない(正答)」、偽陽性の可能性について「HIV 即日検査や郵送検査キットでは、感染していなくても陽性(感染している)と結果が出ることもある。(正答)」、偽陽性の場合、再検査の必要性があることについて「HIV 即日検査や郵送検査キットでは、検査結果を確認するため病院などで再度検査が必要になる場合がある。(正答)」、重複感染について「性感染症に感染していると、HIV に感染しやすくなる。(正答)」、服薬治療について「HIV 感染症は医療の進歩で、服薬を継続することでエイズ発症をコントロールできる病気となった。(正答)」。これらの項目の追加にあたっては各保健所担当者や CBO 等の当事者と検討を重ねた。

## C. 研究結果

### 1. アンケート回収数

本報告では2013年9月末までの結果を速報値として集計した。実施期間中、協力機関で実施された全受検者1,464件中、質問紙は547人の回答を得た(回収率37.4%)。MSMは質問紙回答者中の19.9%(109人)を占めた。

### 2. 回答者の属性(表1)

Community-Based Organization(以下、CBO)による活動の認知別で2群に分けた場合、各質問に対する回答率に有意差は認めなかった。

### 3. HIV/STIや検査に関する知識(表2)

CBO活動の認知別で2群に分けた場合、有意差は認めなかった。

### 4. アンケート結果

沖縄県におけるMSMのHIV受検者の特性は、

- 1) CBO活動・資材の認知群(以下CBO群)では25-44歳を中心に44歳以下で96.6%を占めた(表1)。
- 2) CBO群では、偽陽性の意味を把握していた(表2)。
- 3) CBO群では、家族より友人とのコミュニケーション環境が構築されていた。
- 4) CBO群では、HIV・性感染症に関する相談支援制度を認知している割合が高かった。
- 5) CBO群では男性との性交渉では、コンドーム装着率に差を認めないが、特定の女性との性交渉では有意に高かった(表3)。
- 6) CBO群では、行政のホームページ以外の公的資材へのアクセスは有意に高かった(表4)。

## D. 考察

1. MSMの受検者層の年齢が他の群に比して低かったのは、MSMはもっともハイリスクグループであるので好ましい結果であった。逆にいえば非MSM以外の男性では若年者層の受検の意識欠如が課題である。

2. MSMでは経済状況が問題であり、受検における無料化は受検行動を惹起するのに有効と思われた。

## E. 結語

CBO群と非CBO群では公的資材のアクセス度に違いが認められ、これらを考慮した啓発活動が必要である。

**研究Ⅱ. コミュニティネットワークを用いたMSMを対象とする性の健康、HIV/AIDS感染予防行動に関する質問紙調査-GCQアンケート2013-**

### A. 目的

沖縄地域に在住するMSMの性行動の特性およびコミュニティ組織(CBO)の活動の評価分析を行う。

### B. 研究方法

1. 実施場所：沖縄県内(インターネット回答)
2. 実施期間：2013年4月11日～同年7月15日。
3. 実施方法：nankr沖縄の配布したQRコードを受け取ったMSM。
4. 質問項目：基本属性、検査行動、性行動、性感染症既往歴、HIVに関する対話経験、周囲の感染者の有無、予防介入プログラムへの接触状況とした。

### C. 研究結果

全配布者747人中、回答した349人の回答を得た(回収率44.9%)。

1. ゲイを自認する割合は、年代間で有意差は認めなかった(表5)。
2. 独居の割合は、年齢が高くなるにつれて正の相関を認めた。
3. ゲイ商業施設の生涯利用率は年齢が高くなるにつれて正の相関を認めた(表6)。
4. 出会い系サイトの利用率は年齢が高くなるにつれて負の相関を認めた。
5. ゲイ向け合コンは25-29歳以上、ゲイの乱パは、30-34歳以上で急に増えて、以後プラトリーに達していた。

6. ハッテン場利用は、年齢が高くなるにつれて正の相関を認めた。
7. ハッテン場（公共施設）の利用は30-34歳以上で急激に増加し、40歳以上が最も高く50%超の割合であった。
8. 生涯のHIV検査受検歴は、30-34歳が75.9%と最も高く、全ての年代で50%超であった（表7）。
9. 過去1年間の受検歴割合は30%前後であった（表7）。
10. 過去1年の検査場所で、保健所の即日検査と通常検査の間では、29歳以下ではほぼ同率で差がなく、30歳以上では前者が6%と高い割合であった。
11. CBO介入活動の評価（表8）  
Nankr 沖縄の認知度は30-34歳が90%と高く、24歳以下で56.6%と年代間で有為な差を認めた。一方、コミュニティセンターmabuiの認知度はどの群でも80%前後と高かったが、mabuiへの訪問歴は29歳以下が高く、30歳以上では30%前後と低かった。Nankrコンドームの持ち帰りは、平均で47.8%、年齢が高くなるほど高かった。

#### D. 考察と結語

年齢の高さと相関して感染の高いリスク行動を選択することが明らかとなった。中高年者に対する検査啓発活動に注力する必要がある。

### 研究Ⅲ. 沖縄県におけるMSM向けHIV予防啓発プログラムの開発の検討

#### A. 研究目的：

沖縄県のMSMに対して地方都市向けHIV予防啓発プログラムの開発を検討した。

#### B. 研究方法

1. コミュニティセンター運営方法
2. HIV予防啓発プログラム
3. mabuiへの誘導プログラム
4. ゲイバーへのアプローチ方法

5. ゲイバー以外へのアプローチ方法
6. 沖縄に訪れる県外MSMへのアプローチ方法
7. 相談プログラム
8. 検査促進

#### C. 研究結果

##### 1. コミュニティセンター運営

###### 1) 月別来場者数と新規来場者数（図1）

木曜日から日曜日の週4日の開館とした。

###### 2) オープンスペース（図2）

mabuiではカフェコーナー以外にオープンスペースを設けている。貸出も行い、MSMのサークル等がイベントや練習、ミーティング等に使用している。その際、啓発資材を置いてあるコーナーを通るよう工夫を行った。また、スペース利用の際に検査情報の提供や啓発イベントの告知、予防啓発を行った。

##### 2. HIV予防啓発プログラム（表9）

###### 1) なんくる倶楽部R（年3回）

HIVとゲイライフについてワークショップを行った。参加者が堅苦しくならないような環境づくりを工夫して行った。

###### 2) 大人授業（年3回）

なんくる倶楽部Rとは違う切り口で勉強会を行った。MSMが関心のある事柄とHIVを関連付けることで体験型の勉強会となった。

###### 3) Living Together café in ryukyu

「すべての人がHIVとともに生きている」というリアリティを共有するためのプロジェクト「Living Together計画」に賛同し、12月にコミュニティセンターmabui、1月は宮古島、石垣島で開催した。また今年度は性的マイノリティがより生きやすい社会に、という思いを抱く人たちが集う「ピンクドット沖縄」やセクシュアリティ不問のミックスピーチパーティ「SEXUALITY ON THE BEACH」など他団体が主催するイベントで開催した。

#### 4) ブラジル人HIV陽性者の講演会及び情報交換会

沖縄県中部福祉保健所と共催で、ブラジルのHIV陽性者運動のリーダーであるジョゼ・アラウージョ・リマ・フィーリョ氏を招き、「エイズ対策世界一のブラジルに学ぶ」と題した講演と情報交換会を行った。

### 3. mabuiへの誘導プログラム(表10)

#### 1) リョウコン(年3回)

昨年度も多くの参加のあった「リョウコン」を継続して行った。イベント終了後には検査キャンペーンや啓発プログラム等の紹介を行った。

#### 2) mabuiパーティー

HIV感染症・エイズに関心のない層に対して、MSMが関心のあるアイテムや食べ物などをテーマとしてパーティ形式でイベントを行い、センターの周知及び初来館者を促進する目的で実施した。

#### 3) 展示会

沖縄在住のアーティストによる詩画展や廃刊となったゲイ雑誌の展示を行った。

#### 4) 南定四郎トークショー

「ゲイ・カルチャーとシチズンシップ」と題した日本のゲイ運動を牽引してきた南定四郎氏による講演会を行った。

### 4. ゲイコミュニティ:ゲイバーへのアプローチ

#### 1) コンドーム(図3)

nankr童(わらばー)というチームを組み、お揃いのポロシャツを着て2週間に1度本島内の全ゲイバー(那覇市31軒、沖縄市6軒)へオリジナルパッケージコンドームの補充を行った。また離島にある全てのゲイバー(宮古島1軒、石垣島2軒)には、それぞれ協力してくれる人をリクルートし、コンドームが少なくなると連絡を受けて郵送にて補充を行った。コンドームのパッ

ケージは沖縄の景色にし、実家住まいの県内在住者には持って帰り易く、県外からの観光客にはお土産にもなるようなデザインを行った。

#### 2) コミュニティペーパー「nankr」

年に4回の発行を計画。従来のA3からB3サイズに紙面を拡大し、情報量も増え見やすくなった。リニューアルに合わせ、多くの人が手にとって見てもらえるよう『星占い』や県内ゲイバー・サークルなどが主催する『イベントスケジュール』を掲載し、中高年にも興味をもってもらえるようゲイマガジン『アドン』の元編集長南定四郎氏のコラム、『ゲイが病気をする時』のアドバイジングコーナーも設けた。また、県内にもHIV陽性者がいるというリアリティを持てるように県内のHIV陽性者団体OHPAM(オーパム)と連携して HIV陽性者手記を掲載した。

#### 3) 啓発ポスター

MSMに人気のある漫画家に書き下ろしイラストを描いてもらい、予防啓発ポスターを作成した。

### 5. ゲイバー以外のコミュニティへのアプローチ

#### 1) クラブイベント(表11)

ゲイのみの入場が許されるクラブイベントにおいてトイレや会場入口にオリジナルパッケージコンドームやコミュニティペーパーを設置し、配布を行った。

#### 2) 沖縄ゲイ裏掲示板

沖縄におけるMSMの間で利用者の多い掲示板にバナーを貼るなど、イベントやMSM検査会の広報を行った。

#### 3) スポーツ大会(表12)

県内で行われるMSMのバレーボール・バドミントン・テニス大会において開会式に時間を頂き、nankr沖縄の活動やmabuiの説明、MSM検査会等の紹介を行い、参加者全員にコミュニティ

ペーパー、オリジナルパッケージコンドーム、mabuiパンフレット、検査会フライヤーなどのセットを配布した。

#### 4) ツイッター

mabuiのツイッターにてMSM検査会について定期的にツイートし、イベント告知などにも利用した。2004年1月末現在のフォロワー数は755人であった。

#### 5) 発展場及びショップ

本地域にある全ての有料発展場2軒及び全ゲイショップ1軒にイベントポスターやコミュニティペーパーの設置を行った。

#### 6. 沖縄に訪れる県外MSMへのアプローチ(図4)

沖縄は人口の割合からすると、ゲイ商業施設がとても多い。それは県外からの利用者が多いことがその理由として挙げられ、県外から訪れるMSMは沖縄のゲイコミュニティの構成員と言える。そのため県外から訪れるMSMへのアプローチも重要と考える。

##### 1) ビーチパーティ(表13)

沖縄県内には各ゲイバー主催のビーチパーティが行われる。その中でも最大の300人以上(県外からの参加者は半分以上)が参加するイベントで主催者に協力を頂き、復路での送迎バスの中でコミュニティペーパーとオリジナルパッケージコンドーム、コミュニティセンターガイドの配布を行った。

#### 7. 相談プログラム(表14)

MSMの性的趣向を踏まえた、HIV予防、HIV検査機関、セクシュアルに関する悩み等の相談・情報提供を行った。

##### 1) mabuiスタッフによる相談

センター内での対面、電話、メールで相談を受けた。対面については個室を設けるのではなくオープンスペースでの対応を行った。

##### 2) 専門家によるカウンセリング

セクシュアルマイノリティに理解のあるカウンセラーによるカウンセリング会を月に1度開催した。そしてmabuiスタッフで対応できない相談事例を紹介することとした。

#### 8. 検査促進(表15)

9月に那覇市保健所で、11月に南部保健所で行われたMSM対象の休日検査の広報を行い、MSMへの検査促進を行った。受検者には、HIV予防のための正しいローションとコンドームの使用方法を記載したカードをローション・コンドームとセットして提供した。

八重山保健所、宮古保健所との協働で検査促進のポスターを作成し、ゲイ商業施設へはnankr沖縄が、その他施設には各保健所より配布を行った。

#### D. 考察

##### 1. コミュニティセンター運営

4月から12月までの総来場者数は2,208人で前年の同期間の1,528人と比べて約1.5倍増加した。そして新規来場者は170人で、前年の155人から約1.1倍増加した。要因は今年度立ち上がった若年層の性的マイノリティグループの利用が増えていることが挙げられる。

##### 2. HIV予防啓発プログラム

「なんくる倶楽部R」はワークショップ形式でのプログラムで、参加者も経験を踏まえて予防について学ぶことができた。特に参加者で啓発ポスターを作成するワークショップでは、HIVについて楽しみながら考えるよい機会となった。

「大人の授業」では、性交渉の際実際に使用するグッズを手に取りながら学ぶなど、より具体的な啓発となった。

「Living Together café」では、沖縄在住の陽性者の手記を聞くことで、HIVをより身近に感じる事ができた。特に離島ではHIVに関する質問が多数あり、関心を持ってもらうことが



できた。宮古島、石垣島では各保健所に訪問し、担当者とそれぞれ1時間程度の意見交換会を行うことができた。また他団体主催のイベントでのLiving Togetherでは、幅広い層へのアプローチができた。

ブラジル人HIV陽性者の講演会及び情報交換会では、世界でもエイズ対策が進んだ国として高い評価を得られているブラジル社会の背景について学び、陽性者自身と直接話すことでHIVに対する偏見の軽減につながった。

### 3. mabuiへの誘導プログラム

継続しているリョウコンは毎回20人近くの参加者があり、好評価を得た。今年度より始めたmabuiパーティーでは40人前後の参加があり、新規来場者もそれぞれ5人いた。廃刊になったゲイ雑誌の展示には中高年や当時のゲイ・カルチャーに関心のあるMSMが来場した。

### 4. ゲイコミュニティ:ゲイバーへのアプローチ

2週間に1度アウトリーチを継続していることでお客さんから声をかけられたりと、nankrの存在が定着してきた。また今年度からコミュニティペーパーのサイズが大きくなったことで情報量が増えた。特に新しく設けた県内ゲイ関連イベントスケジュールは好評で、ゲイバーのマスター等からの情報提供を積極的に行った。ゲイバーへのコンドーム補充は4月から12月までで7,467個で昨年の同期間の7,789個とほぼ同数であった。

また、人気漫画家のイラストによる啓発ポスターはゲイコミュニティより高評価を得た。

### 5. ゲイバー以外のコミュニティへのアプローチ

スポーツ大会等イベントに頻繁に顔を出すことでnankr沖縄やmabuiの認知度が上がってきた。沖縄ゲイ裏掲示板からmabuiに繋がるケースも多かった。

### 6. 沖縄を訪れる県外MSMへのアプローチ

昨年度と同じペースでの県外MSMがmabuiへ来場した。来場者にはmabuiやnankrの活動を紹介したオリジナルパッケージコンドームを提供する等の啓発と同時に、来場者の居住する地域のコミュニティセンターの紹介等も行った。

### 7. 相談プログラム

ライフステージなどの相談が主だが、STI・HIVに関する相談も一定数あった。月に1回の専門家によるカウンセリングはなかなか日程が合わず相談できない人もいたが、スタッフが受けた相談のリソース先としての役割は大きいと考えられる。

### 8. 検査促進

9月に那覇市保健所が行ったMSM休日検査は14名の受検者があった。そのうち初受検者が1名であった。11月に南部保健所が行ったMSM休日検査では10名の受検者のうち、初受検者は4名であった。初受検者の獲得に有効な検査促進が実施できたと考えられる。

## E. 結語

新しいプログラムを開発し、実施したことで活動のマンネリ化が解消できた。行政の行うMSM検査会の広報活動や県の委託費を使った啓発活動の実施といった行政との連携が密になってきた。

今後はターゲットを絞った啓発プログラムの開発が必要だと考える。

## F. 個人情報の管理について

1. 個人情報の紛失、流出、改ざんおよび漏洩などを防ぐため、個人情報を保有するのは研究代表者と分担研究者のみとし、情報管理上問題は発生しなかった。

2. 法令等の順守について

個人情報保護に関して適用される法令、国のガイドラインを熟読し順守した。

## G. 発表論文等

(○印は当研究班に関連した発表論文等)

(研究論文)

1. Hibiya K, Teruya K, Tateyama M, Oka S, Fujita J: Enteral entrance of Mycobacterium avium in patients with disseminated mycobacterial disease, International Journal of Mycobacteriology, 121-122, 2013
2. Hibiya K, Tateyama M, Teruya K, Mochizuki M, Nakamura H, Tasato D, Furugen M, Higa F, Endo H, Kikuchi Y, Oka S, Fujita J: Depression of Local Cell-mediated Immunity and Histological Characteristics of Disseminated AIDS-related Mycobacterium avium Infection after the Initiation of Antiretroviral Therapy, Intern Med., 52(16):1793-1803, 2013
3. ○塩野徳史, 金子典代, 市川誠一, 山本政弘, 健山正男, 内海眞, 木村哲, 生島嗣, 鬼塚哲郎: MSM (Men who have sex with men)における HIV 抗体検査受検行動と受検意図の促進要因に関する研究, 日本公衆衛生学雑誌, 60(10), 639-650, 2013
4. 健山正男, 比嘉太, 藤田次郎: 我が国における AIDS 発症動向ー「いきなり AIDS」の問題, 日本医事新報, 4676, 25-30, 2013
5. Hibiya K, Tateyama M, Niimi M, Teruya H, Karimata Y, Hirai J, Tokeshi Y, Haranaga S, Tasato D, Nakamura H, Ihama Y, Haroon A, L Cash H, Higa F, Hokama A, Ogawa K, Fujita J, Acquired Immune-deficiency Syndrome with Focal Onset of Mycobacterium avium Infection Displaying a Histological/ Genetic Pattern of Disseminated Mycobacteria, Intern Med., 51(21): 3089-3094, 2012
6. Tamaki Y, Higa F, Tasato D, Nakamura H, Uechi K, Tamayose M, Haranaga S, Yara S, Tateyama M, Fujita J: Pneumocystis jirovecii pneumonia and alveolar hemorrhage in a pregnant woman with human T cell lymphotropic virus type-1 infection, Intern. Med., 50: 351-354, 2011
7. Hibiya K, Tateyama M, Tasato D, Nakamura H, Atsumi E, Higa H, Tamai K, Fujita J: Mechanisms involved in the extension of pulmonary Mycobacterium Avium infection from the pulmonary focus to the regional lymph nodes, Kekkaku, 86(1): 1-8, 2011
8. Hibiya K, Tateyama M, Teruya H, Nakamura H, Tasato D, Kazumi Y, Hirayasu T, Tamaki Y, Haranaga S, Higa F, Maeda S, Fujita J: Immunopathological characteristics of immune reconstitution inflammatory syndrome caused by Mycobacterium parascrofulaceum infection in a patient with AIDS, Pathology-Research and Practice, 207(4): 262-270, 2011
9. 健山正男, 新里敬, 原永修作, 比嘉太, 那覇唯, 仲村秀太, 田里大輔, 屋良さとみ, 小出道夫, 藤田次郎: A-DROP に基礎疾患と呼吸数を追加したシステムの 30 日死亡予測の検討, 日本呼吸器学会雑誌別冊 49(5): 343-348, 2011
10. Hibiya K, Furugen M, Higa F, Tateyama M, Fujita J: Pigs as an experimental model for systemic Mycobacterium avium infectious disease, Comp Immunol Microbiol Infect Dis., 34(6): 455-464, 2011
11. Hibiya K, Shigeto E, Iida K, Kaibai M, Higa F, Tateyama M, Fujita J: Distribution of mycobacterial antigen based on differences of histological characteristics in pulmonary Mycobacterium avium infectious diseases-Consideration of

the extent of surgical resection from the pathological standpoint, *Pathol Res Pract.*, 2011

(国内学会発表)

1. ○金子典代, 塩野徳史, 健山正男, 山本政弘, 鬼塚哲郎, 内海眞, 伊藤俊弘, 岩橋恒太, 市川誠一: MSM 向けインターネット横断調査に続く追跡パネル調査法の妥当性の検討, 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, 2013 年 11 月
2. 健山正男, 田里大輔, 仲村秀太, 仲松正司, 宮城一也, 原永修作, 比嘉太, 藤田次郎: HIV に関連した神経認知障害の臨床的検討, 第 86 回日本感染症学会総会・学術講演 86:326, 2012
3. 健山正男, 比嘉太, 田里大輔, 宮城一也, 原永修作, 藤田次郎: 行政と連携し集団予防内服により 2 次感染を抑制できた劇症型髄膜炎菌性肺血症症例, 第 60 回日本化学療法学会学術集会, 60:287, 2012
4. 前城達次, 田中照久, 平田哲生, 田里大輔, 比嘉太, 健山正男, 金城福則, 藤田次郎: HIV/HBV 重複感染症における Tenofovir 及び Emtricitabine による抗 HBV 効果の検討, 第 86 回日本感染症学会総会・学術講演 86:437, 2012
5. 田里大輔, 健山正男, 仲村秀太, 古堅誠, 宮城一也, 原永修作, 屋良さとみ, 比嘉太, 藤田次郎: AIDS 患者に発症した非結核性抗酸菌症 5 例の検討, 第 87 回日本結核病学会総会 87:309, 2012
6. 田里大輔, 健山正男, 仲村秀太, 狩俣洋介, 仲松正司, 金城武士, 古堅誠, 宮城一也, 前城達次, 原永修作, 屋良さとみ, 比嘉太, 藤田次郎: 赤痢アメーバ大腸炎・肝膿瘍に腸結核および肝結核を合併した AIDS の 1 例, 第 82 回日本感染症学会西日本地方会学術集会, 225, 2012
7. 山腰晃治, 田里大輔, 健山正男, 仲村秀太, 狩俣洋介, 仲松正司, 金城武士, 古堅誠, 宮城一也, 原永修作, 屋良さとみ, 比嘉太, 藤田次郎: HIV 感染症に合併した治療に難渋した陰部単純疱疹 (HSV-1) の 1 例, 第 82 回日本感染症学会西日本地方会学術集会, 227, 2012
8. 狩俣洋介, 比嘉太, 平井潤, 仲村秀太, 田里大輔, 仲松正司, 玉寄真紀, 金城武士, 宮城一也, 原永修作, 健山正男, 藤田次郎: ヒト・メタニューモウイルス感染症に合併した肺炎 24 例の臨床的検討, 第 82 回日本感染症学会西日本地方会学術集会, 288, 2012
9. 新里彰, 宮城一也, 稲嶺盛史, 田里大輔, 金城武士, 玉寄真紀, 原永修作, 比嘉太, 健山正男, 藤田次郎: インフルエンザ肺炎との鑑別を要したサイトメガロ、ニューモシスチス合併肺炎の 1 症例, 第 69 回日本呼吸器学会・日本結核病学会九州支部秋季学術講演会, 119, 2012
10. 平井潤, 原永修作, 狩俣洋介, 仲村秀太, 上地華代子, 仲松正司, 宮城一也, 屋良さとみ, 比嘉太, 健山正男, 藤田次郎: 遺伝子解析で明らかとなったマクロライド耐性
11. 仲村秀太, 健山正男, 田里大輔, 前田サオリ, 宮城京子, 原永修作, 比嘉太, 藤田次郎: 当院 HIV 感染者における骨代謝以上の有病率とその危険因子に関する検討-第 2 報-, 第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会, 横浜市, 2012
12. 仲里愛, 富永大介, 健山正男, 田里大輔, 仲村秀太, 宮城京子, 前田サオリ, 原永修作, 比嘉太, 石内勝吾, 藤田次郎: HAND における前頭葉機能障害と精神症状の関連. 第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会, 横浜市, 2012
13. 仲里愛, 健山正男: HIV 関連神経認知障害 (HAND) 診断の実際と今後の展開, 第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会, 横浜市, 2012
14. 健山正男, 井濱容子, 深沢真希, 田里大輔, 仲村秀太, 仲里愛, 原永修作, 宮城一也, 比嘉太, 藤田次郎, 宮崎哲次, 宮城京子, 前田

- サオリ：沖縄県の法医解剖症例における HIV 感染率の前方視的検討，第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会，横浜市，2012
15. 椎野禎一郎，服部純子，瀧永博之，吉田繁，上田敦久，近藤真規子，貞升健志，藤井毅，横幕能行，上田幹夫，田邊嘉也，南留美，健山正男，杉浦瓦：国内感染者集団の大規模塩基配列解析 3：希少サブタイプとサブタイプ間組換え体の動向，第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会，横浜市，2012
  16. 服部純子，瀧永博之，渡邊大，長島真美，貞升健志，近藤真規子，南留美，吉田繁，森治代，内田和江，椎野禎一郎，加藤真吾，千葉仁志，佐藤典宏，伊藤俊広，佐藤武幸，上田敦久，石ヶ坪良明，古賀一郎，太田康男，山元泰之，福武勝幸，古賀道子，岩本愛吉，西澤雅子，岡慎一，伊部史朗，松田昌和，林田庸総，横幕能行，上田幹夫，大屋正義，田邊嘉也，白坂琢磨，小島洋子，藤井輝久，高田昇，山元政弘，松下修三，藤田次郎，健山正男，杉浦瓦：新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV の動向，第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会，横浜市，2012
  17. 西島健，高野操，石坂美千代，瀧永博之，菊池嘉，遠藤知之，堀場昌英，金田暁，鯉渕智彦，内藤俊夫，吉田正樹，立川夏夫，横幕能行，松下修三，健山正男，田邊嘉也，満屋裕明，岡慎一：初回治療でアタザナビル/リトナビルを固定シエブジコムとツルバダを無作為割付するオープンラベル多施設臨床試験：ETstudy96 週結果，第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会，横浜市，2012
  18. 前田サオリ，宮城京子，健山正男，石川章子，田里大輔，仲村秀太，石郷岡美穂，大城市子，吉本なるよ，新江裕貴，諸見牧子，仲里愛，下地孝子，藤田次郎：定期受診が遵守できない患者の要因の検討，第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会，横浜市，2012
  19. 宮城京子，前田サオリ，健山正男，石川章子，田里大輔，仲村秀太，石郷岡美穂，大城市子，吉本なるよ，新江裕貴，諸見牧子，仲里愛，下地孝子，藤田次郎：沖縄県におけるコーディネーターナースの活動状況，第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会，横浜市，2012
  20. 仲村秀太，健山正男，田里大輔，平井潤，宮城一也，狩俣洋介，金城武士，玉寄真紀，仲松正司，古堅誠，原永修作，比嘉太，藤田次郎：S 状結腸穿孔から右大腿部筋膜間膿瘍を併発した一例，第 82 回日本感染症学会西日本地方会学術集会プログラム・講演抄録，244，2012
  21. 健山正男，井濱容子，深沢真希，錦戸雅春，宮城京子，仲村秀太，田里大輔，原永修作，比嘉太，藤田次郎，宮崎哲次，大城市子，前田サオリ，石郷岡美穂：剖検例における長期 ART 患者の動脈硬化の病理学的検討，第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会，東京，2011
  22. 服部純子，椎野禎一郎，瀧永博之，林田庸総，吉田繁，千葉仁志，小池隆夫，佐々木悟，伊藤俊広，内田和江，原孝，佐藤武幸，上田敦久，石ヶ坪良明，近藤真規子，長島真美，貞升健志，古賀一郎，太田康男，山元康之，福武勝幸，加藤真吾，藤井毅，岩本愛吉，西澤雅子，岡慎一，伊部史朗，横幕能行，上田幹夫，大家正義，田邊嘉也，渡辺香奈子，渡邊大，白坂琢磨，小島洋子，森治代，中桐逸博，藤井輝久，高田昇，木村昭郎，南留美，山本政弘，松下修三，藤田次郎，健山正男，杉浦瓦：新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV の動向，第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会，東京，2011
  23. 椎野禎一郎，服部純子，瀧永博之，吉田繁，伊藤俊広，上田敦久，近藤真規子，貞升健志，藤井毅，横幕能行，上田幹夫，田邊嘉也，渡邊大，森治代，藤井輝久，南留美，健山正男，杉浦瓦：国内感染者集団の大規模塩基配列解析 2：Subtype B の動向と微小系統群の同定，第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会，東京，2011